



## 阪神・淡路大震災から31年



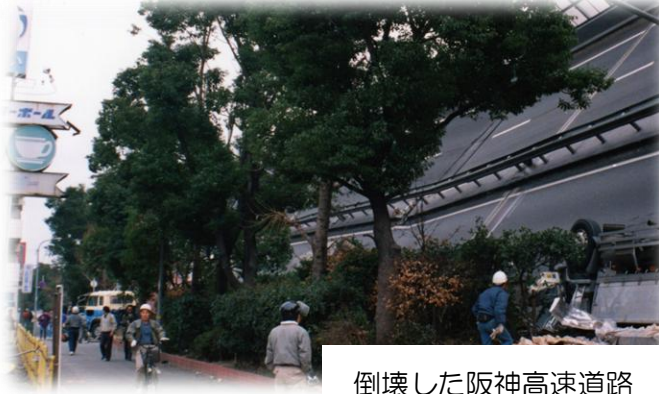
震災後のJR鷹取駅構内の車両



震災後のJR摂津本山駅周辺



震災後の阪神電鉄西灘駅周辺の線路倒壊



倒壊した阪神高速道路

写真提供：神戸市



1995年1月17日発生した阪神・淡路大震災から31年が経過しました。この地震では、線路や高架、駅舎などが甚大な被害を受け、鉄道は機能を失いました。その中でも、多くの鉄道労働者が1日でも早い復旧を目指し、運転再開を果たしました。

地震は、「いつ」「どこで」発生するかは分かりません。昨年12月には青森県東方沖地震が発生し、東日本大震災以降初めて「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表しました。また、「南海トラフ巨大地震の発生確率は、60%から90%以上」と「いつ発生してもおかしくない」切迫した状況です。日ごろからハザードマップの確認や、自分の周りで起きる災害リスクの把握など「今、できること」を防災・減災の立場で行動していこう！

